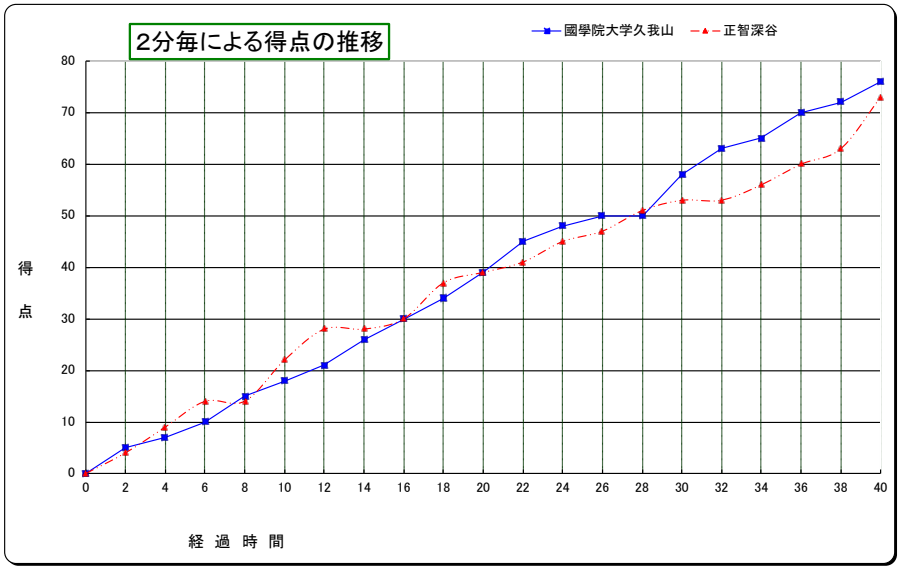
令和5年度 第34回関東高等学校
バスケットボール新人大会

令和6年2月4日（日）
深谷ビッグタートル
準決勝

チームA			チームB
國學院大学久我山（東京）	76	{ 18 21 19 18 } 1st 2nd 3rd 4th { 22 17 14 20 }	73	正智深谷（埼玉）

番号	氏名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
4	村田 桂次郎	18	2	9	5	14	2	2	3	2	8	1	4	1	3
5	澤木 優	16	4	10	2	5			4		8		6		4
6	奥本 航大	0													
7	安藤 空	11	1	3	4	6			2	4	1		2		2
8	藤田 簾	5			2	7	1	2	4	4	8		1		1
9	鈴木 煌汰	22	6	14	2	4			2		1	2	1		2
10	川村 歩	0													
11	佐藤 淳太郎	0													
12	石水 怜	2	0	1	1	3			1	1	4	1	3	1	
13	北澤 太輝	0													
14	鈴木 成連	2					2	2							
15	孫 紹峰	0													
16	渡邉 大斗	0													
17	小山 瑠海斗	0													
18	張 宇森	0													
コーチ	酒井 良幸														
		76	13	37	16	39	5	6	16	11	30	4	17	2	12
	確率		35.1%		41.0%		83.3%			計	41				

番号	氏名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
4	渡利 青葉	0													
5	飯島 康介	13	1	2	4	10	2	2	3		7	1	9		4
6	常田 潤	0													
7	岡野 一輝	21			9	22	3	5	3	9	6	1			2
8	早船 哉斗	10	0	1	4	12	2	3	5	5	6	1			3
9	加藤 駿	23	3	14	6	12	2	4	1	1	6	3	2		
10	山田 仁弘	0			0	1							1		
11	鶴岡 柊斗	0													
12	山口 哲平	0													
13	膳亀 尊	0													
14	三山 倖世	0	0	4	0	1				1		1	2		
15	佐々木 寧	0													
16	奥井 佑譲	0													
17	柿本 新太	6	0	3	3	5			3	2	5	3			1
18	本橋 芽空	0													
コーチ	成田 靖														
		73	4	24	26	63	9	14	15	18	30	10	14	0	10
	確率		16.7%		41.3%		64.3%			計	48				



戦評

第1Q、國學院大学久我山＃4、5、7、8、9正智深谷＃5、7、8、9、14で両チーム、マンツーマンでスタート。序盤は互いに点数を取り合う展開だったが、正智深谷＃9の3Pシュートと速攻で流れを掴みかけたところで國學院大学久我山がタイムアウト。タイムアウト後、國學院大学久我山＃4の個人技、＃5、9の3Pシュートで立て直す。しかし、正智深谷は＃9の個人技で流れを渡さず、18－22正智深谷が4点リードで第1Q終了。

第2Q、國學院大学久我山は外からのシュート、正智深谷は中からの得点で点数を重ねる展開でスタート。2分以降、正智深谷はDF強度をあげ、速攻とバスケットカウントで流れを掴む。一方の國學院大学久我山はオフェンスリバウンドが取れない中でも我慢して＃4、5のドライブ、＃9の個人技で応戦。その後、お互いにタイムアウトを取り、両者譲らず39－39の同点で後半を迎える。

第3Q、國學院大学久我山＃4、5、6、7、8、正智深谷＃5、7、9、10、17で後半がスタート。両者守り合いの展開の中、國學院大学久我山の＃4、5の3Pシュート、正智深谷は＃5を起点に中で点数を重ねる。しかし、残り時間3分強で國學院大学久我山の＃8が4つ目のファールを犯し、ベンチに下がる。＃8が不在で苦しい展開が予想されたが、それを皮切りに外回りの選手の足が動きはじめ、＃4、7が＃8の分まで身体を張り、正智深谷の猛攻を抑え、58－53國學院久我山が5点リードで第3Q終了。

第4Q、國學院大学久我山は＃9の5本目の3Pシュートと途中交代の＃12がミドルシュートを決め、好スタートを切る。正智深谷は國學院大学久我山の＃8がいない中で追いつきたいところだったが、それを許さず、正智深谷がタイムアウト。タイムアウト後は両者良いリズムで攻撃を組み立てるが中々決まらず、我慢の時間が続く。10点差、残り5分のところで正智深谷が後半2回目のタイムアウトを取り、オールコートディフェンスをしかけ、速い展開からの攻撃で3点差まで追いつく。しかし、國學院大学久我山は要所で点数を取りながらフリースローも手堅く決め、76－73で國學院大学久我山の勝利。両校、同じスタイルで終始、見応えのある試合だったが、3Pシュートの精度が高い國學院大学久我山が決勝進出を決めた。

文責：永原 龍徳

Ref	小澤 勤

1st U	赤星 隆幸

2nd U	箱石 拓也